

令和4年第33回定例公安委員会会議録

開催日時 令和4年11月17日(木) 午前11時15分～午後2時45分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時20分

2 出席者

公安委員会 久本委員長 衣笠委員 勝部委員

警察本部 半田警察本部長 雲田警務部長 笠田首席監察官
前田生活安全部長 河本刑事部長 柴田交通部長
加藤警備部長 植木警察学校長 見垣情報通信部長
前田警務部参事官

(事務局等～畔田公安委員会補佐室長、辻室長補佐)

3 議題事項

4 報告事項

- 12月補正予算案(警察関係)の概要(警務部)
- 大会出場関係報告(警務部)
- 鳥取県少年健全育成指導員等研修会の開催(生活安全部)
- 令和4年年末の交通安全県民運動の実施(交通部)
- 鷲峯山麓ハーフマラソンの開催(交通部)
- 「津波防災の日」に関する取組(警備部)

(1) 12月補正予算案(警察関係)の概要(警務部)

警察本部

令和4年度の警察費予算は、9月補正予算後で、170億7,548万円余り

を確保しているところだが、12月補正予算において、4億6,060万円余りの債務負担行為を設定するとともに、8,932万円の繰越明許費を設定する。

これは、道路交通法に基づく行政処分者講習などの委託について、令和5年4月から業務を開始するために本年度中に契約を締結する必要があること、また、警察本部等の各種保守委託などは複数年契約とすることで安定した業務履行やコスト削減が期待できることから、債務負担行為を設定するものである。

繰越明許費は、令和4年度当初予算で計上された事業予算について、年度内完了が見込めなくなったため、翌年度に繰越して使用できるよう設定するものである。繰越し理由は、半導体不足のあおりを受け、警察本部庁舎分電盤の改修に必要な資材の製造が遅延していること、また、令和6年1月に運用開始予定の新運転者管理システムの開発遅延に起因し、運転免許証撮影装置の改修計画に変更があったため、総額8,932万円の繰越明許費を設定する。

なお、12月補正予算後の令和4年度警察予算総額は変わらず、170億7,548万2千円となる。

(2) 大会出場関係報告（警務部）

警察本部

本年10月27日、中国四国管区警察学校において、令和4年度中国四国管内拳銃射撃競技大会が開催された。大会には、警察本部、鳥取警察署及び倉吉警察署に所属する拳銃特練員6人が出場した。大会は、団体競技及び個人競技が実施され、団体競技の結果は、中国四国管内9県中第7位、個人競技の結果は、センター・ファイア・ピストルの部で優勝した。

委員

大会を通して県警察全体の技能向上につながればよいと思う。

委員

選手やその他の方の士気が向上するように、今回の結果を県警察の中でしっかり共有していただきたい。

委員

拳銃射撃技術は、警察官にとって大変重要な技術だと思うので、引き続きしっかり習得していただきたい。

(3) 鳥取県少年健全育成指導員等研修会の開催（生活安全部）

警察本部

本年11月25日、倉吉警察署において、鳥取県少年健全育成指導員等研修会を開催する。この研修会は、少年健全育成指導員等少年警察ボランティアを対象として、地域における自主的な非行防止・健全育成活動を活性化させることを目的に開催している。研修会には、少年警察ボランティア関係者21人及び警察関係者16人が参加する予定である。研修会の内容は、非行概況等の説明のほか、鳥取法務少年支援センター長及び鳥取県中央児童相談所の職員による講演を予定している。

委員

小中学生の不登校が毎年増加しており、昨年度は全国で24万人余りと過去最多であったと思う。少年の健全育成のためには、教育委員会との連携が不可欠であると思うが、連携はできているか。

警察本部

教育委員会とは、日頃から情報共有を行うなど、連携して少年の健全育成に取り組んでいる。小中学生の不登校が増加しているが、ストレスを抱える子供の増加も、非行少年の増加の一因になっていると考えている。

委員

少年の健全育成を社会で支援していければよいと思う。引き続き少年警察ボランティアの方と連携して、活動していただきたい。

委員

県警察と少年警察ボランティアが連携し、現在の少年の傾向や問題点などを情報共有していただき、少年の健全育成に役立てていただきたい。

委員

最近では、ソーシャル・ネットワーキング・サービスに関連した非行事案や事件が起きているが、以前のように問題が可視化されなくなっている部分があると思う。色々な立場の方や専門家の方の意見を交えて、しっかりと協力して健全育成に努めていただきたい。

(4) 令和4年年末の交通安全県民運動の実施（交通部）

警察本部

本年12月12日から同月21日までの間、年末の交通安全県民運動が実施される。この時期は日没が早く、降雪など道路環境の悪化による交通事故や、飲酒の機会が増え、飲酒運転による交通事故の発生が懸念されるため、歩行者や自転

車利用者の反射材用品の着用、前照灯の早期点灯、飲酒運転の根絶、横断歩道における歩行者保護の徹底等を推進するなど、広く県民に交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けてもらうことにより、交通事故防止の徹底を図る。

運動重点は、歩行者保護の徹底と夕暮れ時・夜間の交通事故防止、自転車の安全利用の推進、飲酒運転の根絶、チャイルドシートの正しい使用と全ての座席のシートベルト着用の徹底である。交通安全日は、12月15日に設定されている。期間中、鳥取警察署では警察音楽隊との交通安全パレード、琴浦大山警察署では、熱波師の五塔熱子氏を一日警察署長に任命して、交通安全運動の出動式を行うほか、各警察署で開始式等の行事を予定している。

運動重点に沿った取組として、各種街頭広報、高齢者宅訪問、自転車利用者に対する交通安全指導のほか、飲食店等を訪問し、飲酒運転根絶やハンドルキーパー運動を呼び掛ける。

委員

年末に向けて飲酒の機会が増えると思うので、飲酒運転根絶の取組をしっかりと願います。

委員

交通安全に対する意識付けが大切であると思うので、できる取組はしっかり行っていただきたい。

以前は、チャイルドシートの着用率が悪かったと思うが、現在はどうか。

警察本部

チャイルドシートの着用率は依然として低いので、保育所等での広報啓発活動を継続しているところである。

委員

保育所等でチャイルドシートの着用を広報する際には、チャイルドシートが正しく固定されているかということも確認するよう、指導等を行っていただきたい。

(5) 鷲峯山麓ハーフマラソンの開催（交通部）

警察本部

本年11月27日、鷲峯山麓ハーフマラソンが開催される。これは、因幡の名峰「鷲峯山」を眺めながら公益財団法人日本陸上競技連盟公認コースを走り、地域の魅力を全国に発信することを目的に、初めて開催されるものである。

主催は、鷲峯山麓ハーフマラソン実行委員会及びNPO法人鹿の助スポーツクラブである。参加者数は800人で、北海道や沖縄県などからの参加がある。

主な事前広報として、広報チラシを鳥取市鹿野町及び同市気高町地内の各世帯へ配布又は回覧するとともに規制予告看板を11月上旬から設置している。また、大会のホームページなどで迂回路の広報を行うとともに、大会1週間前には、迂回等の交通規制の折込チラシを配布予定としている。主催者は、警備員が20人、鳥取陸上協会が24人、交通整理に従事するボランティアが132人の体制で行う。警察の交通対策として、浜村警察署が18人体制で対応するとともに、ハーフマラソンではランナーの先導のため白バイ1台が配置する。大会中は、ランナー一走行区間の車両通行禁止や信号操作による交通規制を行う。

行楽シーズンにおける大会の開催であり、全国から集まる初開催の大会であることから、迂回路の事前広報やランナー、周辺住民及び関係者の安全確保を第一に、安全な大会運営に協力していく。

委員

初開催で、県内外から多くの方が参加されると思うので、大会の成功に向け、万全の体制でお願いします。

委員

安全な大会となるよう、事前広報をしっかりとお願いします。

委員

関係者間で事前の確認を十分に行い、安全に大会を開催していただきたい。

(6)「津波防災の日」に関する取組（警備部）

警察本部

津波防災の日を前に、本年11月2日、機動隊を移転先とした災害警備本部の機能移転訓練を実施した。訓練では、応急的な通信の確保、映像伝送訓練などを実施した。本年は、警察学校の初任科生が訓練に参加し、その結果、災害警備本部を昨年より早く立ち上げることができた。初任科生には、訓練開始前に、警察本部や代替施設としての機動隊庁舎の施設概要、機能移転の訓練の必要性について事前教養を実施した。映像伝送訓練では、災害対策用ドローンの現場映像を移転先の災害警備本部へ送信する訓練を行った。

そのほか、本年10月31日から11月11日までの間、災害警備活動パネル展示を実施した。この展示は、平成23年から警察本部や各警察署において開催しており、本年で12年目である。展示は、東日本大震災に伴う部隊活動状況等を含む平成12年鳥取西部地震からの写真である。

なお、各警察署でも、「津波防災の日」に関する取組として、シェイクアウト訓練や機能移転訓練などを実施しており、引き続き、関係機関と連携した訓練に取り組んでいく。

委員

想定外のことが起こりうるので、訓練は、より実践的なものとしていただきたい。また、訓練を通して気づいたことなどがあれば、次回に引き継いで、よりよいものにしていただきたい。

委員

県民の防災に関する意識は高まっているので、関係機関と連携してしっかり取り組んでいただきたい。災害警備活動パネル展示は、警察の活動を広く知っていただくよい機会であると思うので、様々な場所で広報や展示をしていただきたいと思う。

委員

現在、各種訓練が行われているが、いつ起きてもおかしくないという意識でしっかり訓練に取り組んでいただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取4件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞1件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

「津波防災の日」に関する取組

4 報告事項

- ・全国公安委員会連絡会議関係
- ・少年サポートセンターの活動について
- ・車両の使用制限命令（結果報告）
- ・大規模災害等発生時における援助の要求等

5 決裁

開示請求に係る審査請求の審議会への諮問

6 行事

全国拳銃射撃大会出場者との懇談

7 公安委員会委員間の事前検討・協議等

8 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。